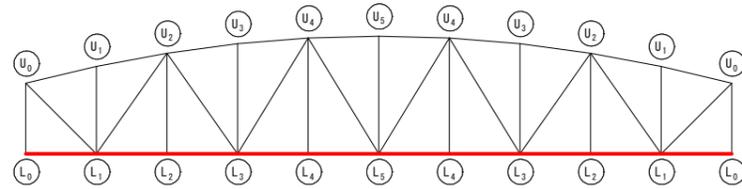
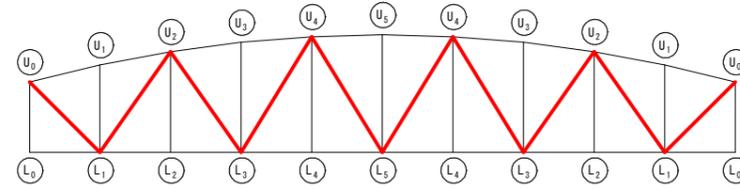


補修要領図(その2)

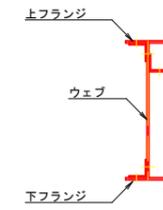
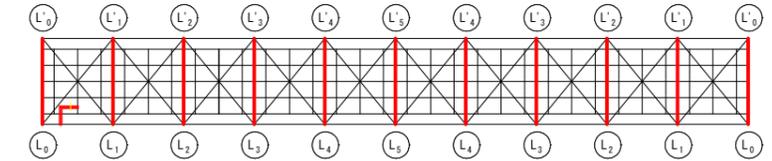
主要部材番号図



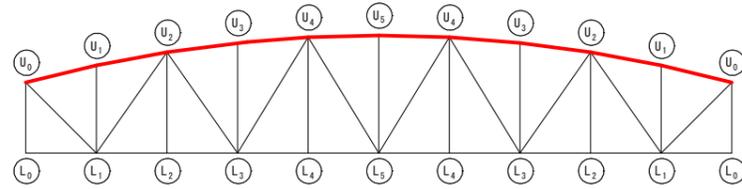
部材	部材番号	健全時断面積 A (cm ²)	余裕断面積 Am (cm ²)
下弦材	L ₀ -L ₁	119.5	107.43
	L ₁ -L ₂	151.0	38.46
	L ₂ -L ₃	151.0	38.46
	L ₃ -L ₄	167.6	20.64
	L ₄ -L ₅	167.6	20.64



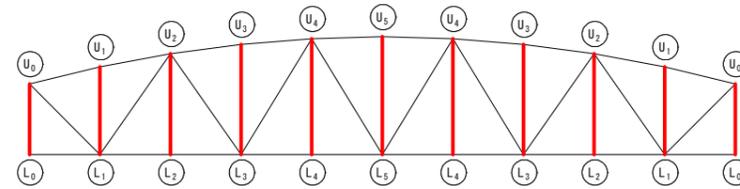
部材	部材番号	健全時断面積 A (cm ²)	余裕断面積 Am (cm ²)
斜材	U ₀ -L ₁	104.1	1.02
	U ₁ -L ₂	127.8	24.12
	U ₂ -L ₃	80.6	41.27
	U ₃ -L ₄	116.1	63.82
	U ₄ -L ₅	80.6	73.51



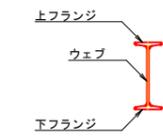
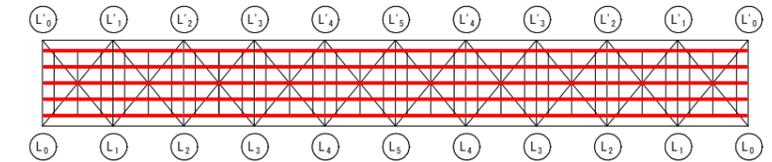
部材	部位	健全時断面積 A (cm ²)	余裕断面積 Am (cm ²)
縦桁	上フランジ	51.6	11.10
	ウェブ	97.5	76.80
	下フランジ	51.6	11.10



部材	部材番号	健全時断面積 A (cm ²)	余裕断面積 Am (cm ²)
上弦材	U ₀ -U ₁	125.0	35.08
	U ₁ -U ₂	125.0	36.06
	U ₂ -U ₃	197.5	33.90
	U ₃ -U ₄	197.5	34.82
	U ₄ -U ₅	222.5	41.74



部材	部材番号	健全時断面積 A (cm ²)	余裕断面積 Am (cm ²)
垂直材	U ₀ -L ₀	125.0	16.58
	U ₁ -L ₁	46.0	42.07
	U ₂ -L ₂	46.0	25.88
	U ₃ -L ₃	46.0	38.75
	U ₄ -L ₄	46.0	25.88
	U ₅ -L ₅	46.0	37.93



部材	部位	健全時断面積 A (cm ²)	余裕断面積 Am (cm ²)
縦桁	上フランジ	27.8	9.90
	ウェブ	26.3	22.00
	下フランジ	27.8	9.90
	ウェブ	26.3	22.00

注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
- 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行い、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
- 縦桁及びガセットプレート等は、主要部材の対象外とし、二次部材と扱い、当て板補強を行わないことを基本とする。なお、二次部材に著しい損傷が確認された場合には、監督職員と協議の上、補修内容決定すること。
- 詳細調査においてリベット及び高力ボルトの脱落およびゆるみは見られない。補修工事においてリベット及び高力ボルトの損傷が見られる場合は監督職員と協議の上、リベット及び高力ボルトの取替を実施すること。
- 余裕断面積Amとは各部材・部位が許容できる断面欠損率のことであり、余裕欠損率は健全断面積に対して各部位・部材が許容できる断面欠損率のことである。
- 補修対象はA1-P2の径間である。

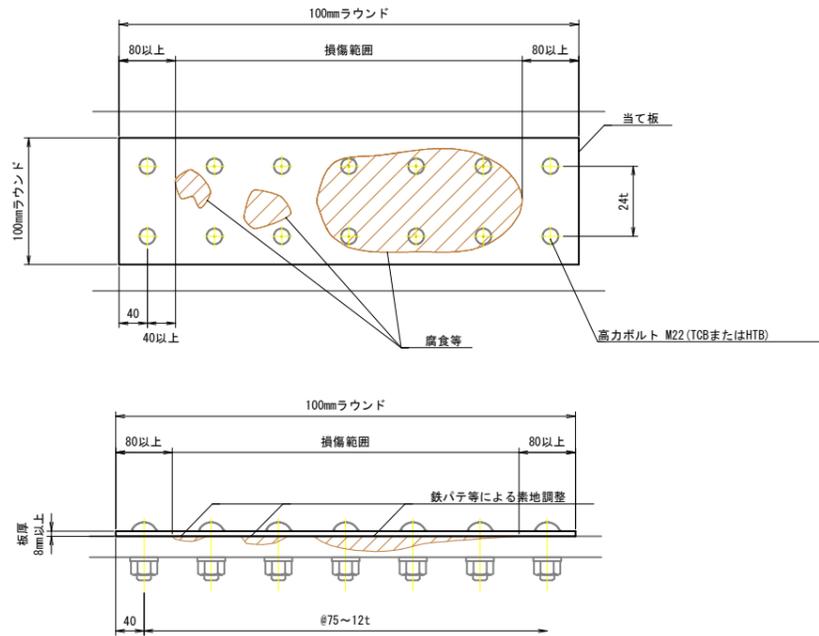
日野橋(車道日野橋側)

図面番号	第 14 枚内 8 号
図面名称	市道車道日野橋側日野橋横りょう補修工事(その2)補修要領図(その2)
縮 尺	図示 (A3幅は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修要領図(その3)

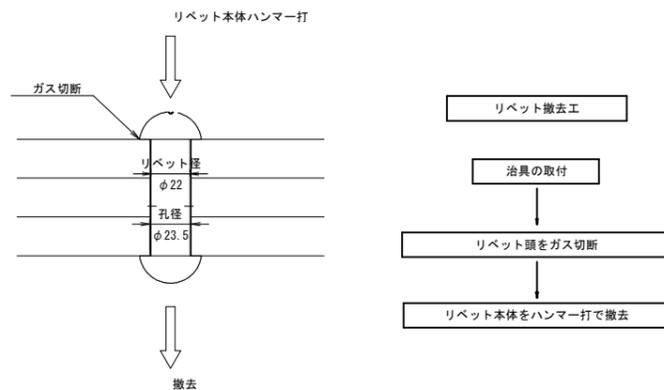
(鋼部材補修)

当て板補強工



- 注記
- ※1. 施工前に断面修復範囲を調査し、補修箇所を確認すること。
 - ※2. 当て板設置部の減肉部を鉄バテ等により整形すること。
 - ※3. 当て板寸法は100mmラウンドを基本すること。
 - ※4. 当て板補強工に使用するボルトはトルシア型高力ボルト (TOB) を基本とする。
トルシア型高力ボルトが適用できない場合には、高力ボルト (HTB) を使用すること。
 - ※5. 最外線のボルトの線端距離および腐食端部からボルト中心までの寸法を40mm以上確保することを基本とする。高力ボルトの首下長さは、母材厚及び当て板の板厚に応じて選定すること。
 - ※6. 当て板の板厚は8mmを最小板厚とし、必要に応じて増厚すること。
 - ※7. ボルトの間隔は下記を基本とする。これによらない場合には監督職員と協議の上、決定する。
部材軸方向 75~12t
部材軸直角方向 75~24t
なお、tは連結する部材の最小板厚のことを示す。
 - ※8. 基本線端距離 (40mm) が確保できない場合には監督職員と協議の上、最小線端距離を設定すること
 - ※9. リベット (あるいは高力ボルト) の撤去が必要な場合は、下記に示す方法にて撤去すること。

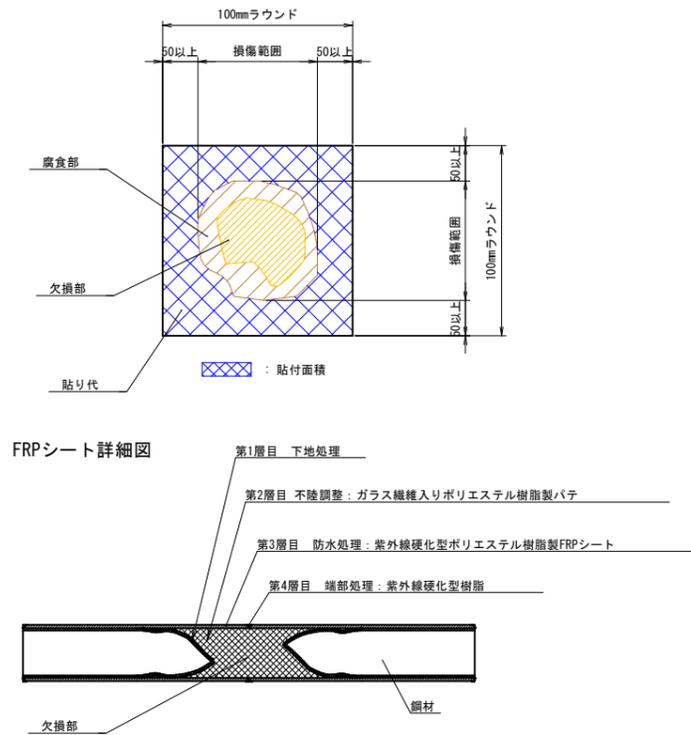
リベット撤去工



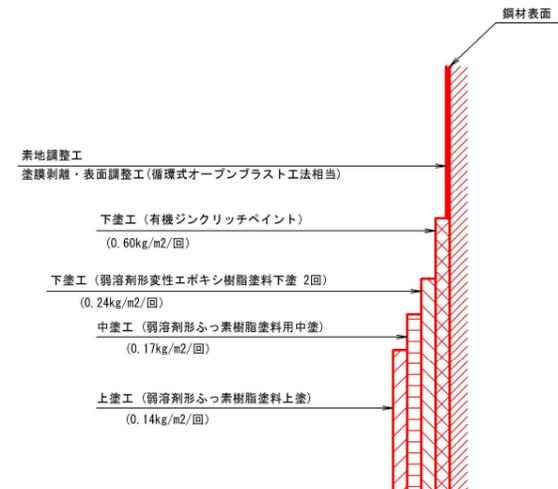
- 注記
- ※1. 中心をとるため、リベット撤去時の受側より抜くことを基本とする。
 - ※2. 母材を可能な限り損傷しないように留意すること。
 - ※3. リベットが高力ボルトへ取替されている場合は、高力ボルトを撤去すること。

FRPシート補修工

(紫外線硬化型)



塗装塗替工

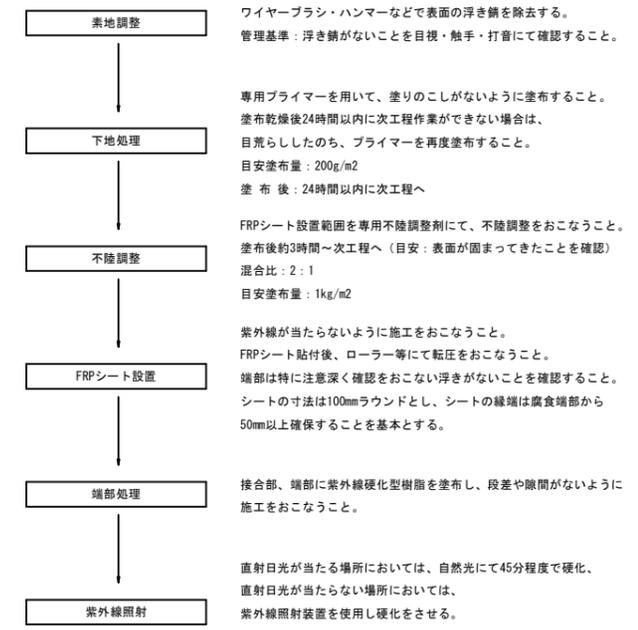


仕様一覧 (Ro-1塗装系)

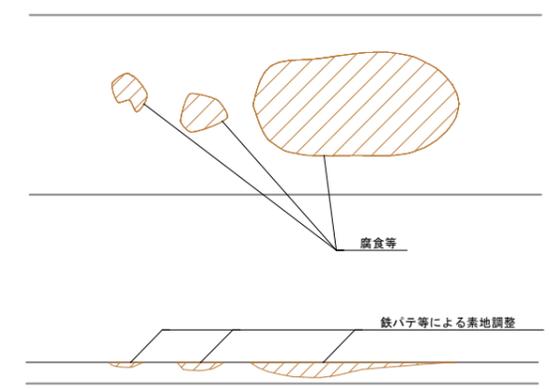
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種 (循環式オープンブラスト工法相当)		4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

- 注記
- ※1. 補修部分の塗装面積は、おおよその面積であり、現地計測結果を反映し、決定すること。

FRPシート補修工



不陸調整工



- 注記
- ※1. 施工前に断面修復範囲を調査し、補修箇所を確認すること。
 - ※2. 金属バテ等の不陸調整材により腐食部の表面形成を行うこと。

- 注記
- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。
施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。

日野橋 (東尾日野橋側)

図面番号	第 14 枚内 9 号
図面名称	市道東尾日野橋側東尾日野橋横りょう補修工事 (その2) 補修要領図 (その3)
縮 尺	図示 (A3版は表示幅尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

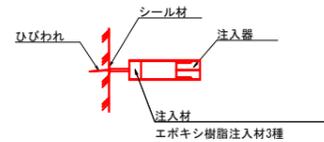
補修要領図(その4)

(コンクリート補修)

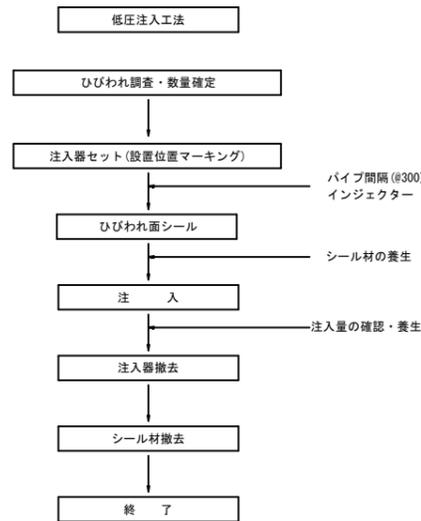
ひびわれ補修工 (下部工)

ひびわれ注入工 (低圧注入工法)

(0.2mm以上1.0mm未満のひびわれ)

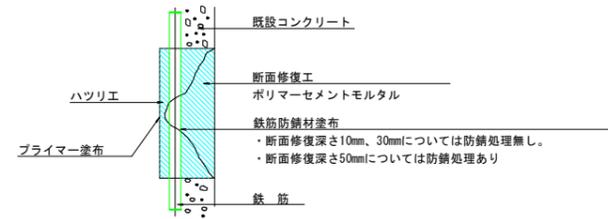


- ※1. 施工前にひびわれ延長、ひびわれ幅の調査を行い補修箇所を確認すること。
- ※2. ひびわれ注入材は、「建設省総合技術開発プロジェクト」に示されるエポキシ樹脂注入材相当とする。
- ※3. 注入材については事前に監督員の承認を得ること。

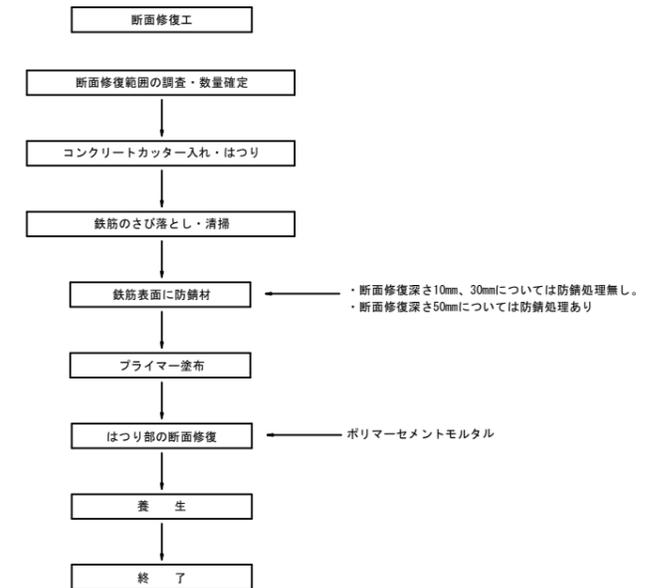


断面修復工 (下部工)

(左官工法) (ポリマーセメントモルタル)

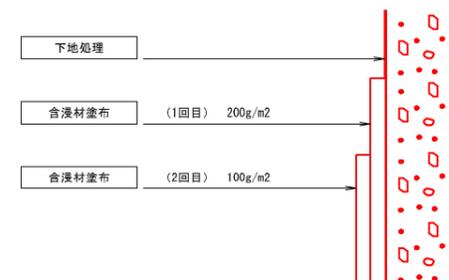


- ※1. 施工前に断面修復範囲を調査し、補修箇所を確認すること。
- ※2. 劣化・不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1~3cm程度切断目地を入れ、入念に施工する。
- ※3. 施工不良により、鉄筋かぶり薄い箇所はかぶり20mmを確保したうえで周囲にすりつけること。
- ※4. 損傷個所に鉄筋がある場合は、鉄筋の裏側までコンクリートをはつきり取り、錆の除去・防錆、コンクリートへのプライマー塗布を行い、入念に施工すること。
- ※5. 断面修復材はポリマーセメント系とする。「表面保護工法・設計施工指針」に示される断面修復材の規格を満足すること。
- ※6. 断面修復材については事前に監督員の承認を得ること。



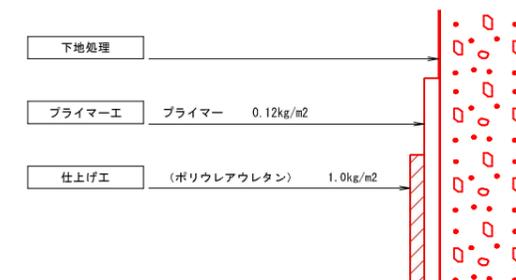
床版補修工 (上部工)

含浸材塗布工



- ※1. 施工時の外気温は十分に確認し適用すること。
- ※2. コンクリートの表面含水率が8%以下で、結露がないことを確認すること。
- ※3. コンクリートの表面のほこりや泥等の付着物の除去・清掃が十分に行うこと。
- ※4. 塗布完了後48時間は、塗布面が直接雨にさらされないようにすること。
- ※5. 使用する材料は監督員と協議すること。

剥落防止工



- ※1. 施工時の外気温は-5℃以上であることを確認すること。
- ※2. コンクリートの表面含水率が8%以下で、結露がないことを確認すること。
- ※3. コンクリートの表面は研磨清掃し、表面を平滑にすること。

注記

1. 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
2. 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。

日野橋 (車庫日野橋線)

図面番号	第 14 枚内 10 号
図面名称	市道車庫日野橋線日野橋橋りょう補修工事(その2)補修要領図(その4)
縮 尺	図示 (A3縮は表示幅尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修要領図(その5)

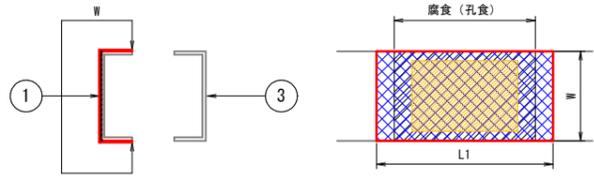
S=1:10

(鋼部材補修)

斜材

垂直材

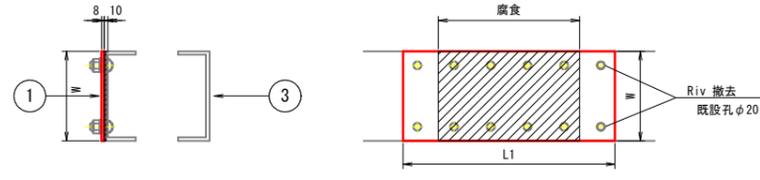
FRPシート補修 1
F-1-2, F-3-3



n - W x L1 (紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	200	F-3-3
1	400	500	F-1-2

当て板補強 1
F-1-2, F-3-3

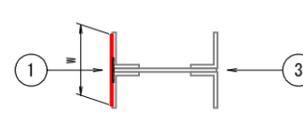


n - PL W x 8 x L1 (SS400)
n1-M22 x 55 (S10T)

n(箇所)	n1(本)	n2(本)	W	L1	補修番号
1	6	-	300	300	F-3-3
1	12	2	500	600	F-1-2

【撤去】
n2-Riv

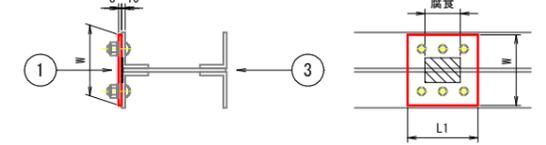
FRPシート補修 4
F-1-1



n - W x L1 (紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	200	F-1-1

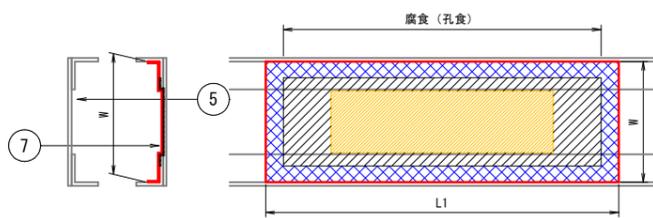
当て板補強 4
F-1-1



n - PL W x L1 x 8
n1-M22 x 55 (S10T)

n(箇所)	n1(本)	W	L1	補修番号
1	6	200	200	F-1-1

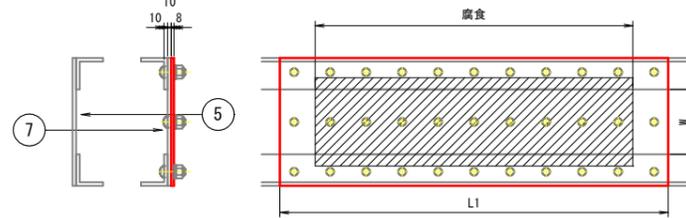
FRPシート補修 2
F-5-3, F-5-4, F-5-5, F-5-6, F-7-1, F-7-2



n - W x L1 (紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
5	200	200	F-5-3, F-5-4, F-5-5, F-5-6, F-7-1
1	400	1000	F-7-2

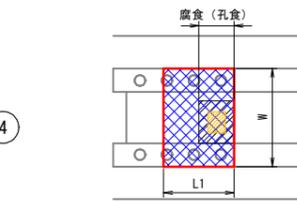
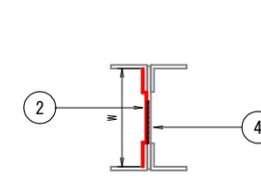
当て板補強 2
F-5-3, F-5-4, F-5-5, F-5-6, F-7-1, F-7-2



n - PL W x 8 x L1 (SS400)
n1-M22 x 55 (S10T)
n2-M22 x 65 (S10T)

n(箇所)	n1(本)	n2(本)	W	L1	補修番号
3	2	4	200	200	F-5-3, F-5-4, F-5-6
1	3	6	200	300	F-5-5
1	3	6	300	300	F-7-1
1	11	22	500	1100	F-7-2

FRPシート補修 5
F-2-3, F-2-6, F-4-1

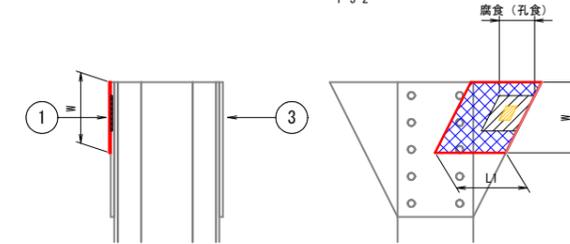


n - W x L1 (紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	200	F-2-3
2	200	300	F-2-6, F-4-1

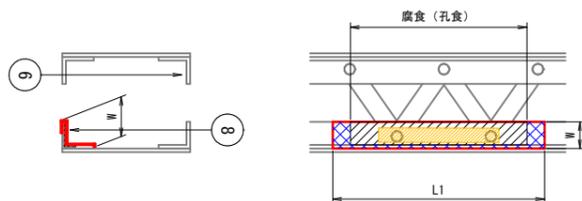
垂直材 ガセットプレート部

FRPシート補修 6
F-5-2



n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	200	F-5-2

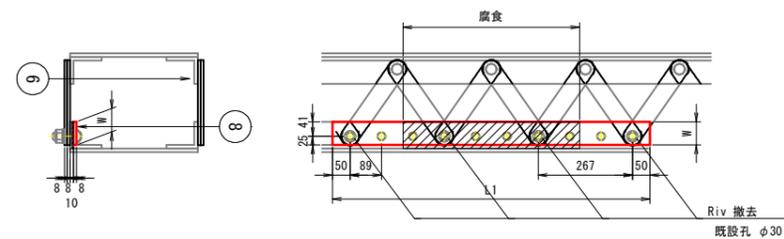
FRPシート補修 3
F-8-1



n - W x L1 (紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	600	F-8-1

当て板補強 3
F-8-1



n - PL W x 8 x L1 (SS400)
n1-M22 x 70 (S10T)

n(箇所)	n1(本)	n2(本)	W	L1	補修番号
1	10	4	300	900	F-8-1

【撤去】
n2-Riv

注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
 - 当て板補強部は素地調整後、鉄パテにより表面を整正すること。
 - 寸法は代表例を示す。
- 他の部材については代表例を参照して算出している。

日野橋 (草尾日野橋側)

図面番号	第 14 枚内 11 号
図面名称	市道草尾日野橋側草尾日野橋橋りょう補修工事 (その2) 補修要領図 (その5)
縮 尺	図示 (A3版は表示範囲の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写真年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

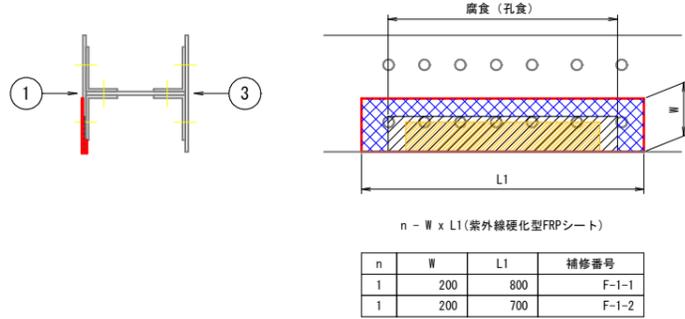
補修要領図(その6)

S=1:10

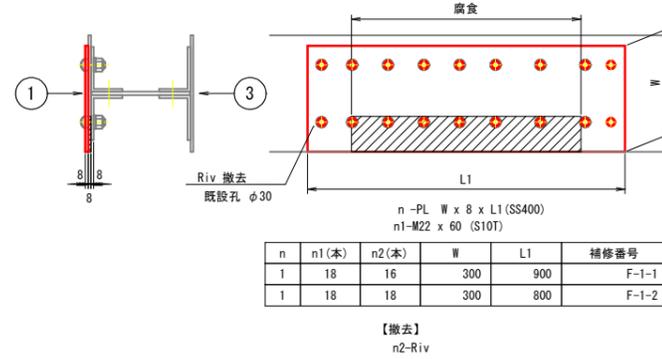
(鋼部材補修)

下弦材④

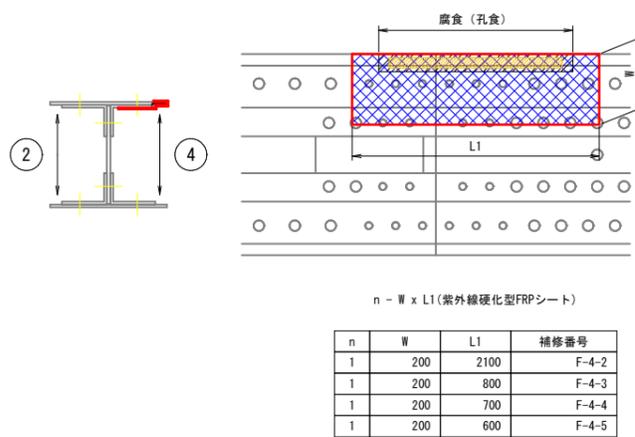
FRPシート補修 8
F-1-1, F-1-2



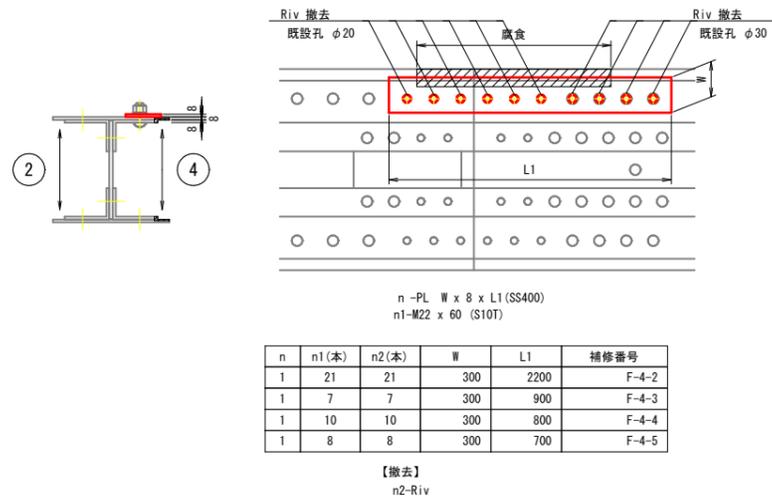
当て板補強 8
F-1-1, F-1-2



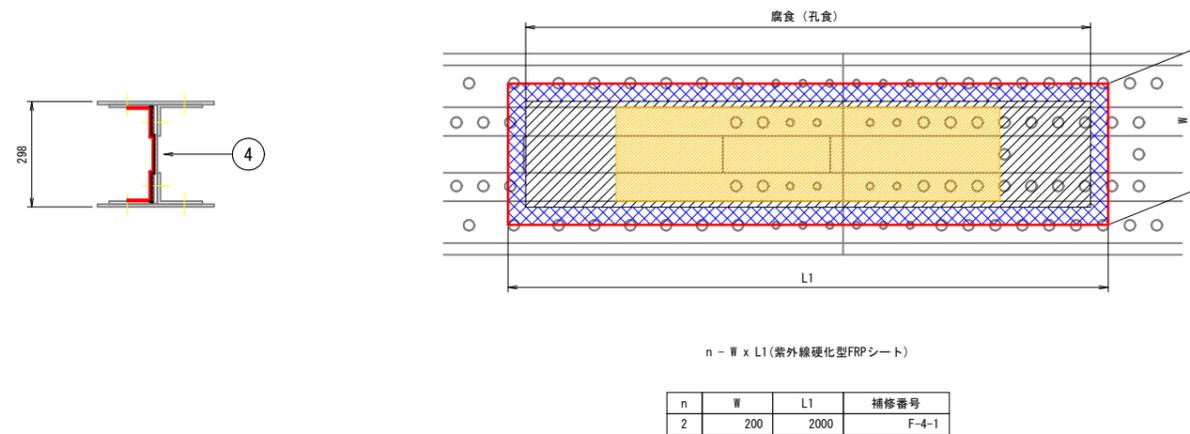
FRPシート補修 9
F-4-2, F-4-3, F-4-4, F-4-5



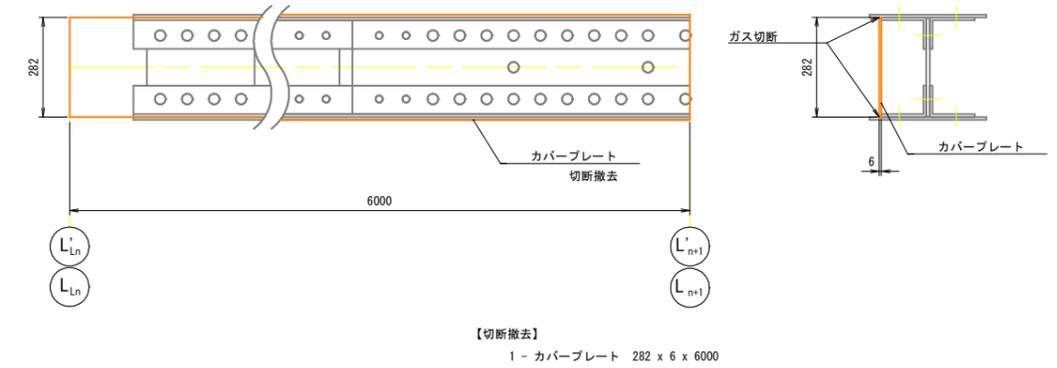
当て板補強 9
F-4-2, F-4-3, F-4-4, F-4-5



FRPシート補修 10
F-4-1



下弦材全体 カバープレート撤去工



注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
- 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
- 当て板補強部は素地調整後、鉄バテにより表面を整正すること。
- 寸法は代表例を示す。
- 他の部材については代表例を参照して算出している。

日野橋(草尾日野橋南交差)

図面番号	第 14 枚内 12 号
図面名称	市道草尾日野橋南交差日野橋横りょう補修工事(その2)補修要領図(その6)
縮 尺	図示(A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

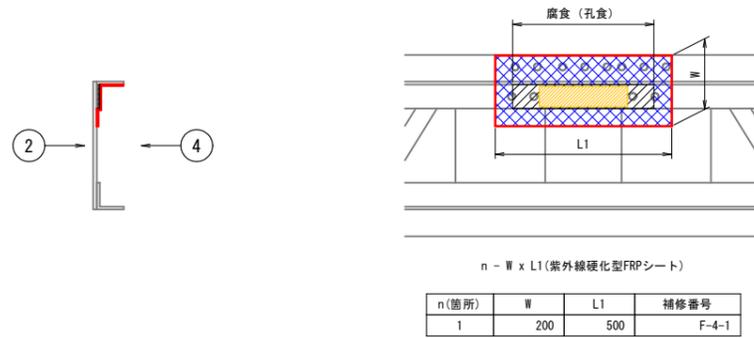
補修要領図(その7)

S=1:10

(鋼部材補修)

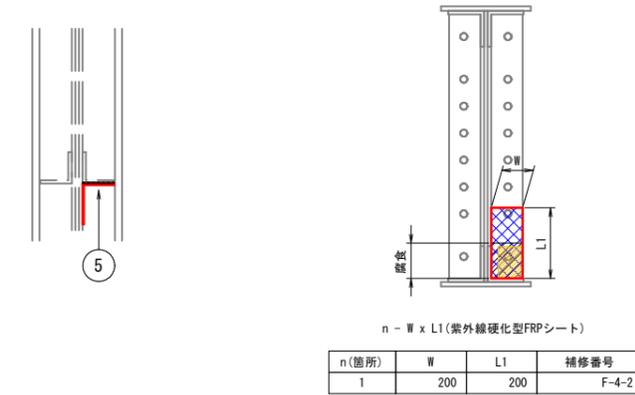
上部横絞構

FRPシート補修 11
F-4-1



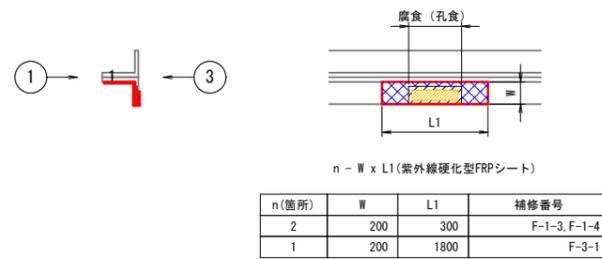
横桁

FRPシート補修 14
F-4-2

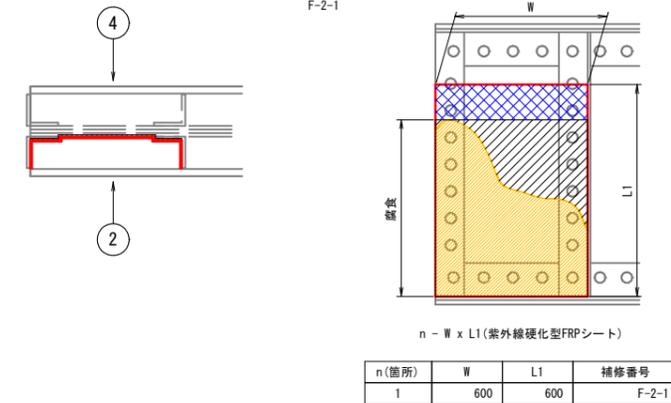


下部横絞構

FRPシート補修 12
F-1-3, F-1-4, F-3-1

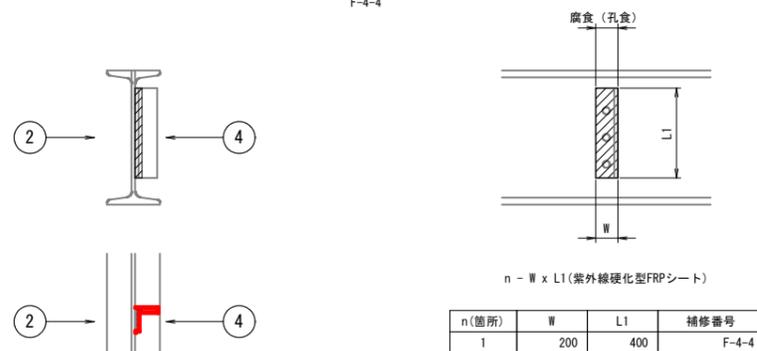


FRPシート補修 15
F-2-1

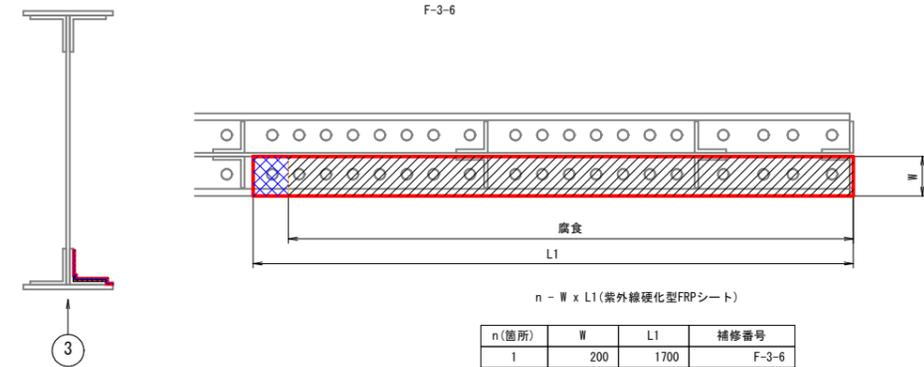


縦桁

FRPシート補修 13
F-4-4



FRPシート補修 16
F-3-6



注記

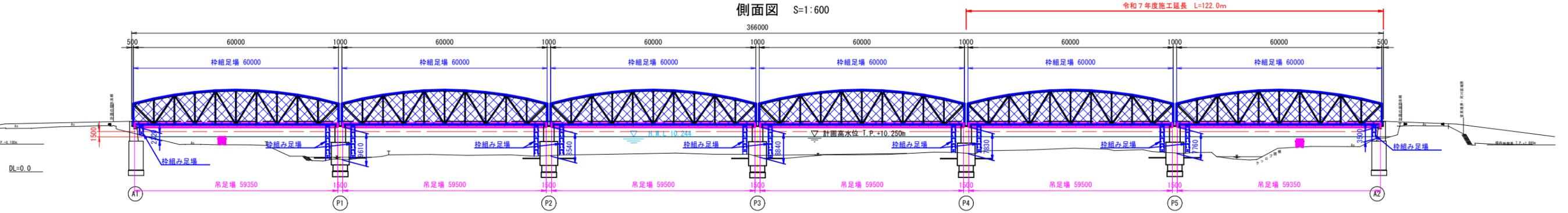
- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
- 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
- 当て板補強部は素地調整後、鉄バテにより表面を整正すること。
- 寸法は代表例を示す。
- 他の部材については代表例を参照して算出している。

日野橋(東尾日野橋側)

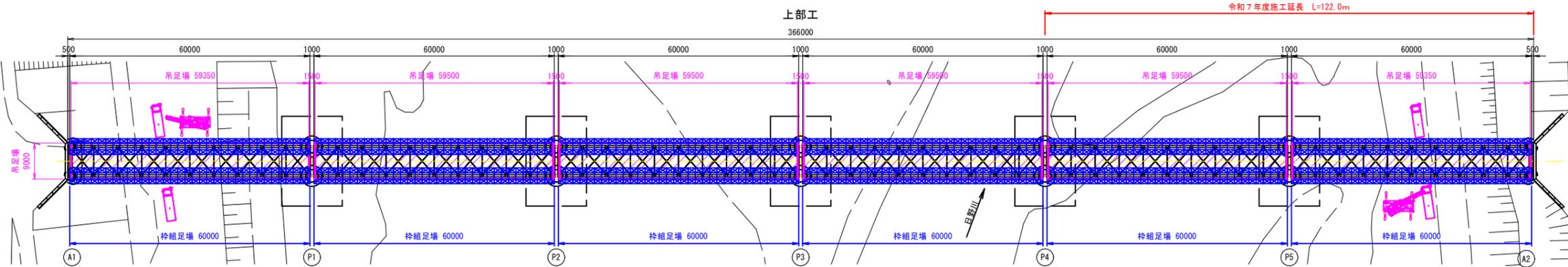
図面番号	第 14 枚内 13 号
図面名称	市道東尾日野橋側日野橋 横りょう補修工事(その2) 補修要領図(その7)
縮 尺	図示(A3版は表示幅尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写真年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

足場計画図 (案)

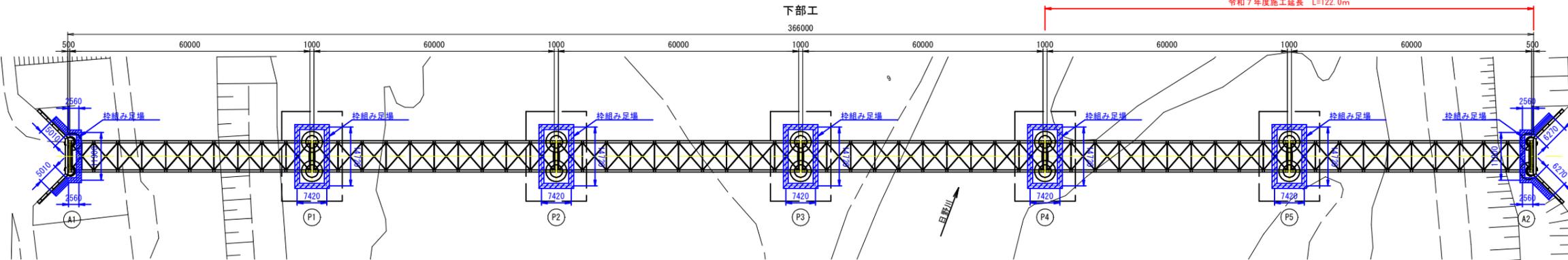
側面図 S=1:600



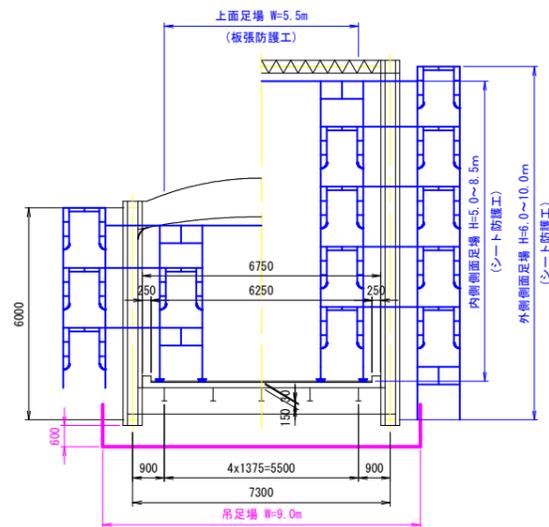
平面図 S=1:600



下部工



断面図 S=1:100



注記

1. 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
2. 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行い、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
3. 本橋の塗膜はPGB、鉛を含有している。法令等に準じた足場・塗膜の飛散防止対策を行い、飛散に十分注意すること。
4. 現地寸法を確認の上、補修内容・塗装塗替え工法に合わせた足場を計画すること。
5. 通行止め期間は最小となるように足場を設置すること。
6. 足場の下端は想定H.W.L+余裕高(1.5m)以上を確保すること。

日野橋 (東尾日野橋側)	
図面番号	第 14 枚内 14 号
図面名称	市道東尾日野橋側日野橋橋りょう補修工事 (その2) 足場計画図
縮 尺	図示 (A3幅は表示幅尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	